

# AGI 東アジア12カ国・地域経済動向

東アジア12カ国・地域の経済動向を、主要統計のグラフとアジア成長研究所（AGI）の研究者による解説とともにお知らせいたします。

## グラフの読み方

### 図1：実質GDPとGDPデフレータの伸び率 一国経済の基本的な経済動向を読む

- 実質GDP 国内総生産（GDP：Gross Domestic Product）は、国内で生み出された財・サービスの付加価値の総計である。GDPには名目値と実質値があり、そのうち実質GDPの伸び率は経済成長を測る代表的な指数である。
- GDPデフレータ 名目GDPを実質GDPで除した値として計算される。その伸び率は、名目GDPの価格上昇分を表し、インフレの程度を知ることができる。GDPデフレータのプラスの伸び率が高いほどインフレ傾向にあり、マイナスの伸び率が高いほどデフレ傾向にある。

### 図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率 政府の金融政策と景気の関係を読む

- 貨幣供給量 経済全体に流通している貨幣の総量。通常、金融政策は中央銀行が貸出や公定歩合操作、債券売買や外為市場介入等を行うことによって実施される。金融政策により貨幣供給量が増加すれば、短期的には経済が拡大するが、長期的には貨幣価値が下がるので物価の上昇を招きやすい。M1とは現金の流通額と預金（当座預金、普通預金等）を合わせたもので、M2はM1に定期預金、外貨預金等を合わせたものである。
- 国内信用 銀行部門の貸出等（信用）の総額。政府向け信用と民間向け信用に大別される。政府向け信用は主に銀行の国債保有残高、民間向け信用は主に企業向け貸出額にあたる。この伸び率が高ければ、国内市場に循環する資金が増加したことを示す。なお、一部の国では国内債権（Domestic Claims）を使用している。

### 図3：消費者物価指数、株価指数、為替レート指数 インフレと景気動向を読む

- 消費者物価指数 消費者が購入する財・サービスの価格を加重平均したもの。インフレの程度を測る代表的な指数である。指数が上昇すればインフレ傾向にあり、下落すればデフレ傾向にある。
- 株価指数 株式市場の上場銘柄全体の値動きを表す指標である。景気（および人々の期待）の動向を知ることができる。指数の継続的な上昇は好況を、継続的な下降は不況を示唆する。
- 為替レート指数 本国通貨と米ドルとの交換レート（ドル/本国通貨）。指数の上昇は本国通貨高、下落は本国通貨安を示す。本国通貨高は輸入価格の下落により、輸入がしやすくなる一方、対外的に見て、輸出価格が上昇するので輸出が難しくなる。

### 図4：輸出額と輸入額 対外経済部門の動向を読む

- 輸出額 輸出数量×輸出価格。輸出は外貨獲得の重要な手段である。
- 輸入額 輸入数量×輸入価格。資本財や中間財の輸入は国内の生産能力を増大させ、消費財の輸入は消費者の満足度を高める。



公益財団法人

アジア成長研究所

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4 / TEL: 093-583-6202 / URL: <https://www.agi.or.jp>

# 日本の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

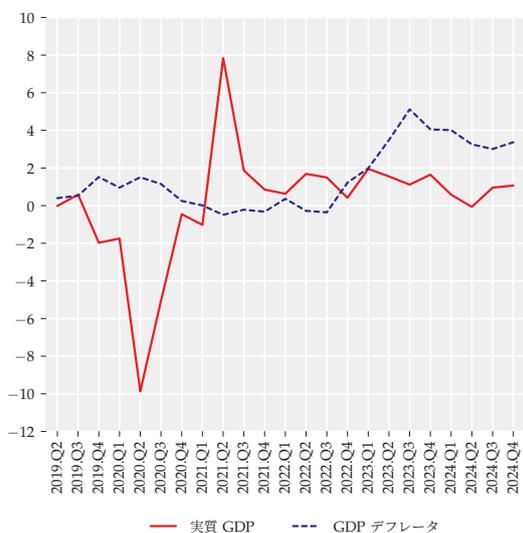


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

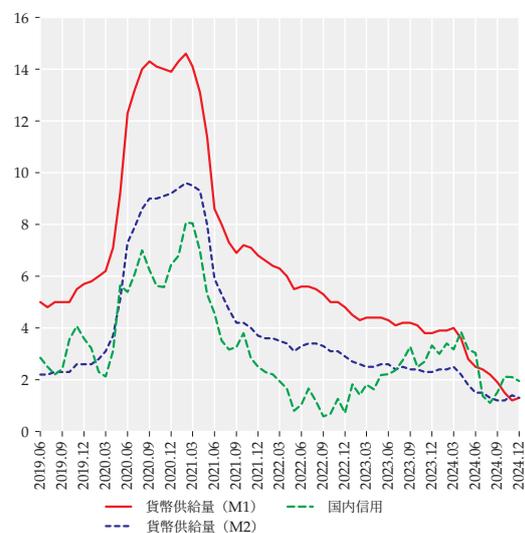


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

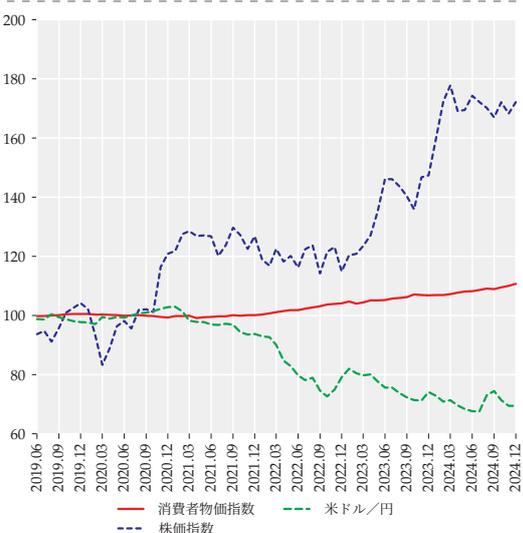
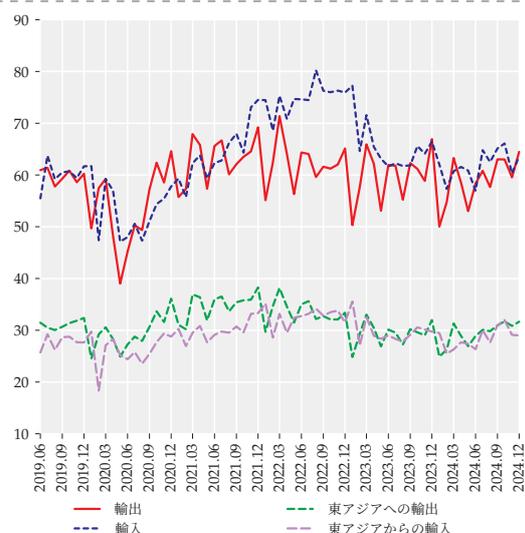


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



## 日本経済の動向 (2024年第4四半期)

2024年第4四半期の実質 GDP の伸び率は前期 (0.3%) から加速し、1.2%となった (前年同期比、速報値)。前期の南海トラフ地震臨時情報の発出を受けて急増した備蓄需要が一服したことや、物価高騰が続くコメや野菜などの消費も低調で、個人消費の押し下げ要因となった。他方、省エネ家電の販売増などが個人消費に寄与したほか、半導体関連を中心に設備投資も堅調だったため、民間需要は前年同期比1.2%と前期 (1.2%) と横ばいになった。民間最終消費支出は前年同期比で1.1%と前期 (0.7%) よりも加速した。しかし、民間企業設備投資が前年同期比1.1%と前期 (2.4%) より減速した。また、政府最終消費支出は前年同期比で1.5%と前期 (0.8%) より増加した。輸出および輸入はそれぞれ前年同期比で-0.2%と-0.0%となった。雇用と所得環境が改善する中で、景気の緩やかな回復が期待できるが、食料品などの物価上昇が、消費者マインドを下押しし、個人消費に与えるネガティブな影響を注意する必要がある。(小松 翔)

## 中国の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

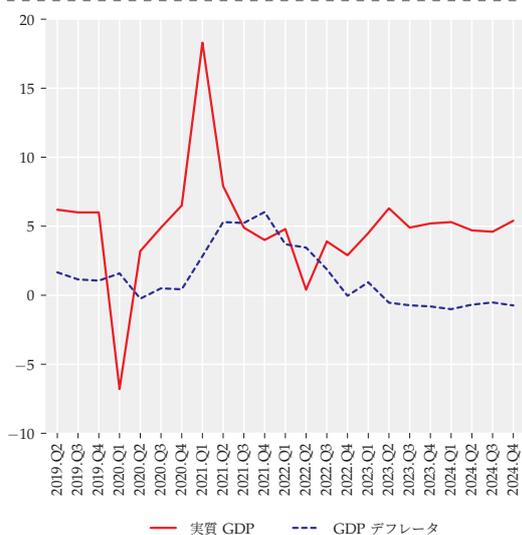


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)



図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

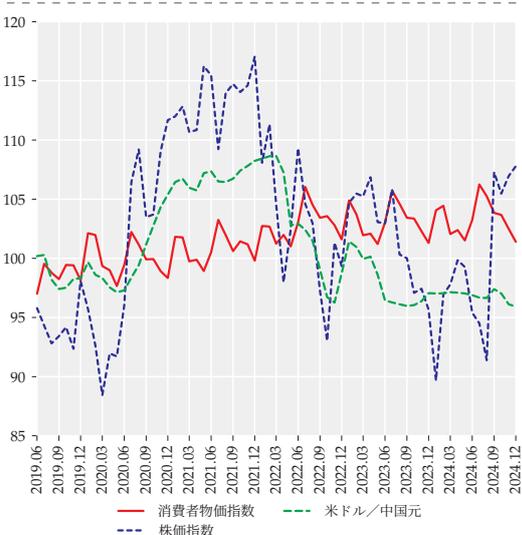
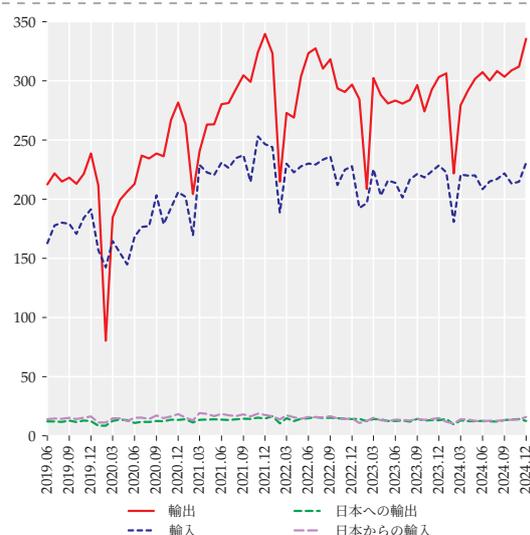


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 中国経済の動向 (2024年第4四半期)

2024年第4四半期の実質 GDP 伸び率(前年同期比, 以下同じ)は前期の4.6%から5.4%に上昇した。2024年通年の成長率は5.0%で、前年から0.3ポイント減速したが、政府目標の「5.0%前後」は達成した。支出側から見た第4四半期の GDP 成長率への貢献度は、国内最終消費が29.7%(前期比0.1ポイント減)、固定資本形成が24.5%(前期比1.1ポイント減)、純輸出が45.8%(前期比1.2ポイント増)であった。2024年通年の GDP 成長率への同貢献度は、国内最終消費が44.5%となり、2023年の85.6%から41.1ポイント減少した。不動産需要の低迷と雇用不安の長期化の影響で、大規模設備更新や家電買い替え支援策があったにもかかわらず、社会消費品小売総額の増加率はわずか3.5%にとどまった。一方、純輸出の貢献度は30.3%で、前年の-11.4%から41.7ポイント増加し、堅調な伸びを示し経済成長の牽引力となっている。ただし、米国による輸入関税の追加賦課方針などを踏まえると、外需環境には依然として不透明感が残る。(彭 雪)

## 香港の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

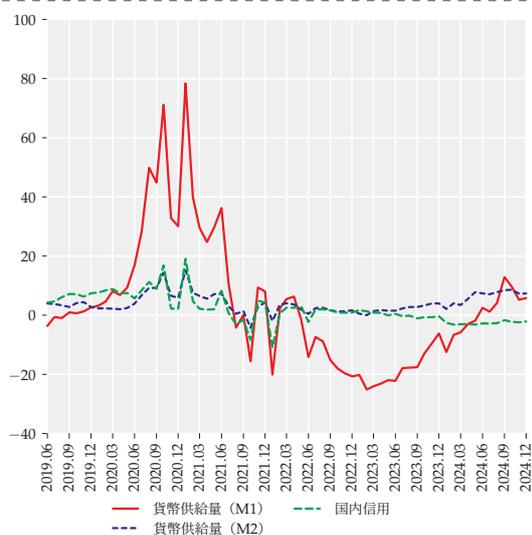


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

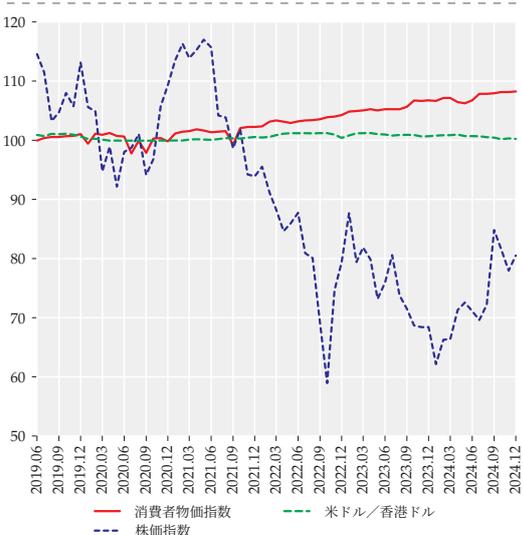
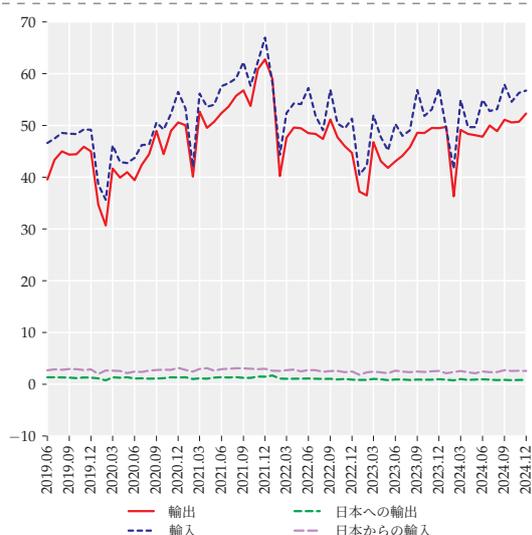


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 香港経済の動向 (2024年第4四半期)

2024年第4四半期の実質 GDP 成長率(対前年同期比)は2.4%となった。第3四半期の1.9%から持ち直したものの、第1・第2四半期の2.8%および3.1%を下回った。第4四半期のGDP支出側の構成別成長率(対前年同期比)を見ると、政府消費は2.0%増加(第3四半期は1.7%)したものの、民間消費は-0.2%と引き続き縮小(第3四半期は-1.3%)した。また、固定資本形成も-0.9%と、第3四半期の5.7%から大きく落ち込んだ。一方、第4四半期の貨物輸出は、中国・米国・ASEAN諸国の需要に支えられ、第3四半期の4.0%増から減速したものの、1.3%伸びた。サービス輸出も、金融・ビジネス・輸送・観光などの堅調な成長を背景に、5.6%増と引き続き拡大(第3四半期は2.9%)した。なお、第4四半期の失業率と消費者物価上昇率は、それぞれ3.1%と1.4%であり、低水準を維持している。香港政府統計処は、2024年通年の実質 GDP 成長率を2.5%と公表するとともに、2025年の実質 GDP 成長率を2.0~3.0%と予測した。(戴 二彪)

## 韓国経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

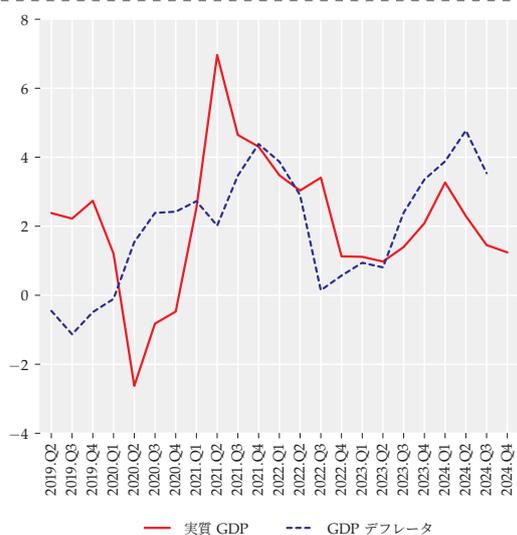


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率  
(前年同月比, %)

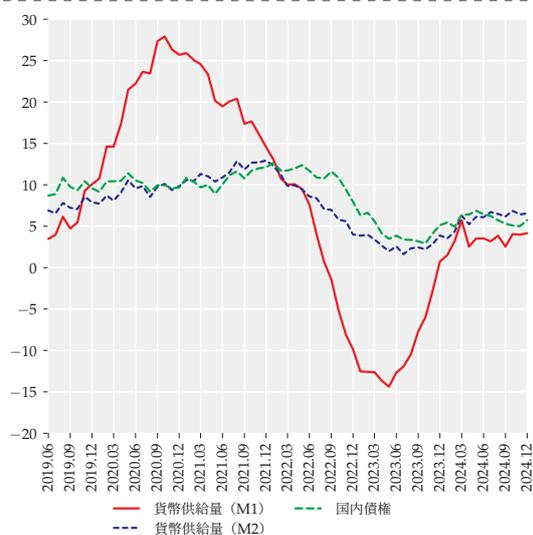


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

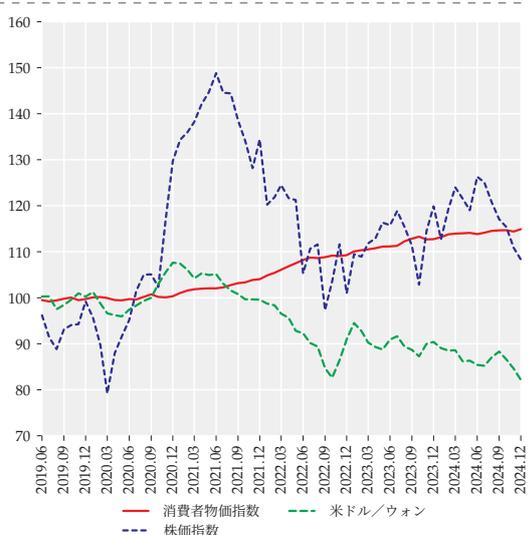
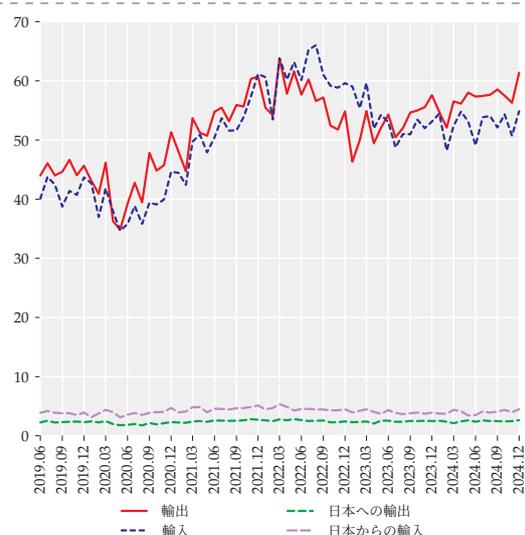


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 韓国経済の動向 (2024年第4四半期)

韓国の2024年第4四半期の実質 GDP の伸び率(前年同期比, 以下同じ)は1.24%で, 前期から約0.2ポイント低下した。12月末の株価指数は2,399.49, 1米ドル=1434.42ウォンであった。株価・ウォン相場ともに下落した(同年9月末の同指標は2,593.27, 1334.82ウォン)。また, 12月末の消費者物価指数(CPI)は114.9で, 伸び率は1.92%であった。CPIの伸び率は4月以降低下傾向が続いている。外需では, 輸出の伸び率が10月の4.6%から11月に1.3%へ落ち込んだものの, 12月には6.6%まで回復した。このような不安定な変動は, 米国の関税政策への懸念や国内の政治的不確実性によるもので, 輸出に対する下方圧力を強める要因となっている。今後の成長は, 主要国の貿易政策や政府の景気刺激策に大きく左右されると予想される。特に, 内需回復のペースや為替・原油価格の動向が不透明な要因となるだろう。さらに, 半導体市場の動向や中国の生成 AI 技術開発の進展も, 韓国の輸出環境に影響を与える可能性がある。(柯 宜均)

## 台湾の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

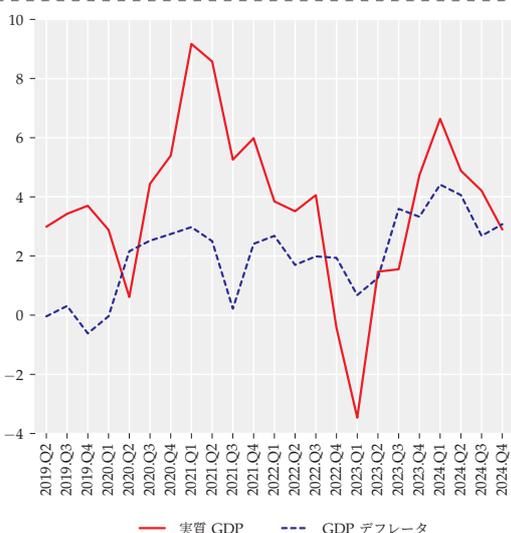


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

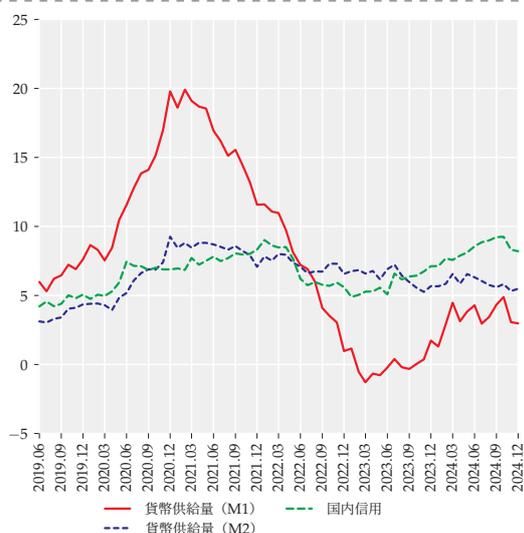


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

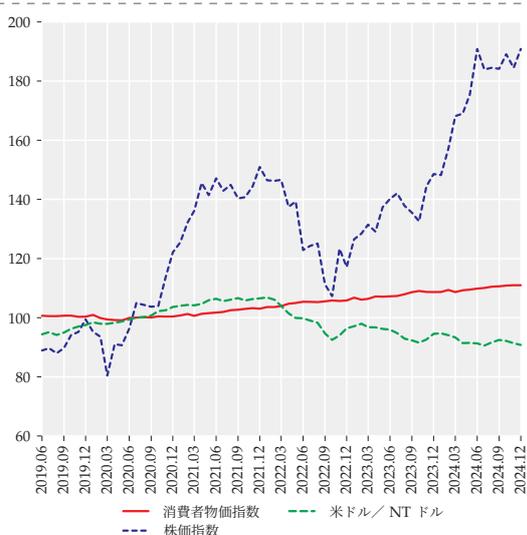
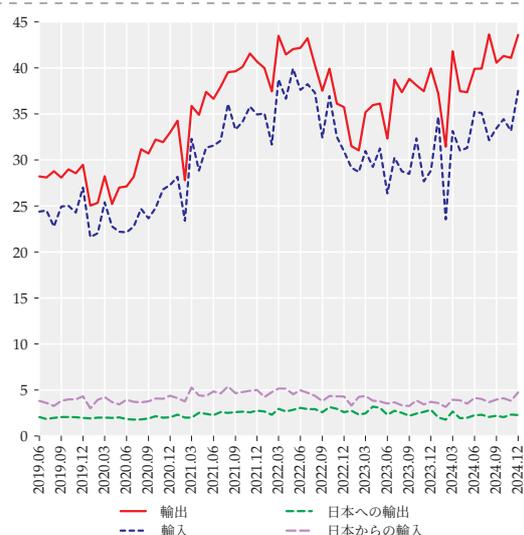


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 台湾経済の動向 (2024年第4四半期)

2024年第4四半期の実質 GDP の伸び率(前年同期比, 以下同じ)は2.90%で, 前期の4.21%から約1.3ポイント低下した。12月末の株価指数は23,035.10, 1米ドル=32.57台湾ドルであった。株価は上昇し, 台湾ドル相場は下落した(同年9月末の同指標は22,224.54, 31.98台湾ドル)。輸出の伸び率が前期の8.04%から9.05%へ約1ポイント増加した。また, 輸入の伸び率は18.30%に達し, 引き続き上昇傾向を示した。消費者物価指数(CPI)は12月末で108.83であった。第4四半期の台湾経済は, AIアプリや通信製品の需要増加が輸出を押し上げ, 経済に推進力を与えた。台湾は, アップルやエヌビディアといった企業に重要な技術サポートを提供するなど, 世界のテクノロジー・サプライ・チェーンで重要な役割を果たしている。2025年を展望すると, 米国の貿易政策は台湾経済に大きな影響を与える可能性がある。例えば, 米国がテクノロジー製品の国内生産を義務付けた場合, 台湾企業は生産・投資戦略の変更を余儀なくされるかもしれない。(柯 宜均)

## インドネシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)



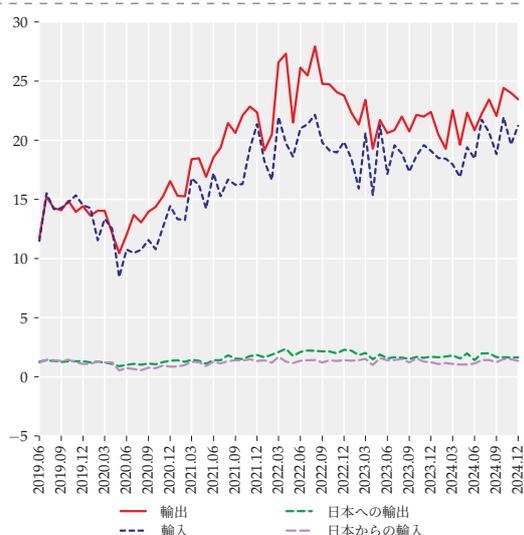
図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率  
(前年同月比, %)



図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)



図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### インドネシア経済の動向 (2024年第4四半期)

2024年第4四半期の実質 GDP 成長率(前年同期比)は、前期(4.94%)から加速し5.02%となった。5%前後の高い成長率を維持しており、2024年通年での成長率も5.03%となった。3月に3.04%であった物価上昇率が、4月以降下落が続き、12月には1.57%となった。中央銀行が設定したインフレターゲット(1.5~3.5%)の範囲には収まっており、中央銀行は1月15日に政策金利を4カ月ぶりに引き下げ5.75%とした。その後発表された2025年1月の物価上昇率が0.76%となったが、これは2000年1月以来となる低水準であり、今後の金融・経済政策が注目される。OECDへの加盟の準備が進むなか、2025年1月にインドネシアのBRICSへの加盟が発表された。これまでインドネシアは「全方位外交」を標榜しており、特段の方針転換があったわけではないという評価がある一方で、米国のトランプ大統領再選以降混迷の度合いを深める国際情勢の中で、その影響を不安視する声もある。(田村一軌)

## マレーシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率  
(前年同月比, %)

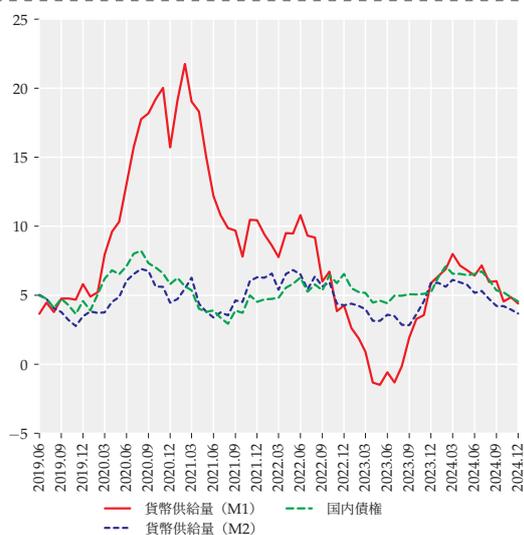


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

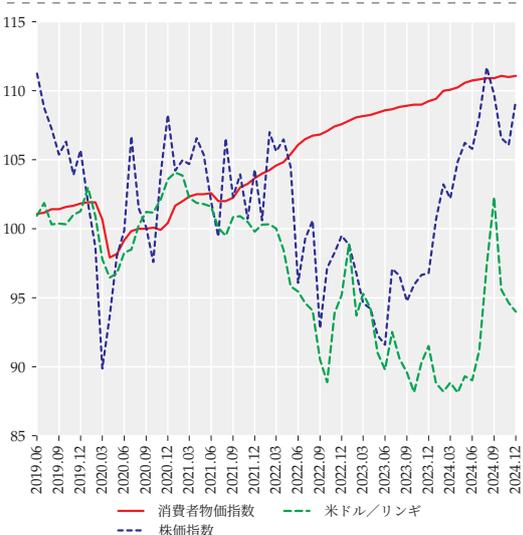
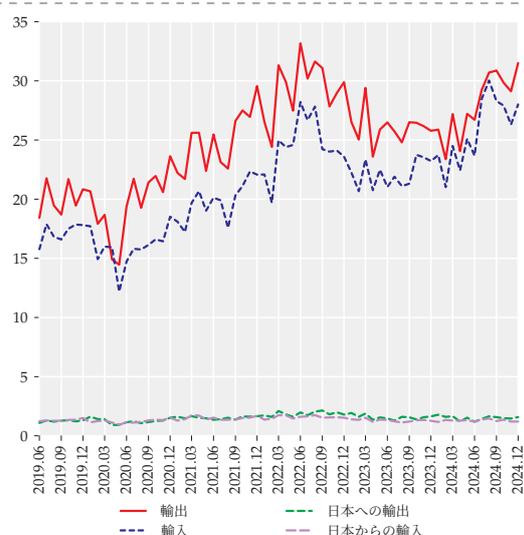


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### マレーシア経済の動向 (2024年第4四半期)

2024年第4四半期の実質 GDP 成長率は、主に国内需要の牽引により 5.0 %増加し、2024 年通年では 5.1 %成長した。財貨およびサービスの輸出は引き続き拡大したものの、資本財および中間財の輸入の伸びは鈍化した。建設業界は、住宅、非住宅、そして専門工事部門での活発な活動に支えられ、引き続き二桁成長を維持した。2024 年、リングギットは米ドルに対して通年で 2.7 %上昇した。第4四半期の総合インフレ率は 1.8 % (前期: 1.9 %) に、コアインフレ率は 1.7 % (同: 1.9 %) にそれぞれ低下した。これは主に、モバイル通信サービスにおけるインフレの鈍化によるものである。世界的なコスト状況の緩和と国内需要圧力の抑制により、2025 年もインフレは管理可能な水準にとどまると予想される。国内では、民間および公共部門における複数年プロジェクトの進展と承認済み投資の実現が投資を促進する見込みである。国外では、世界的なハイテク景気、非電子製品の成長、観光客支出の増加が輸出を下支えすると予想される。(アルバロ・ドミンゲス)

## フィリピンの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

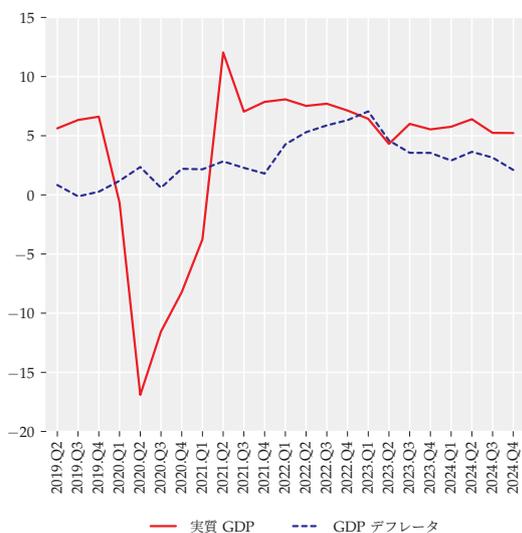


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)



図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

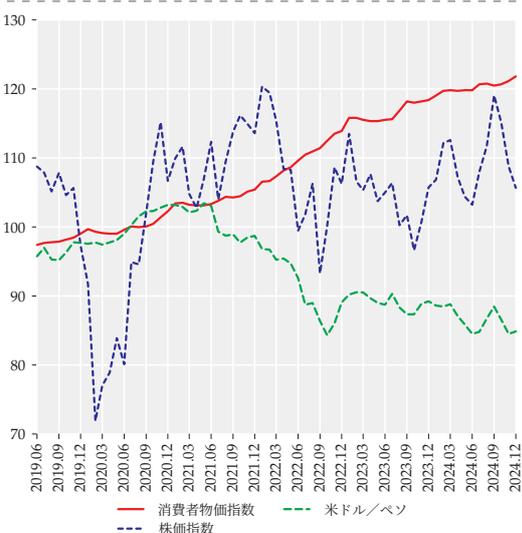


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### フィリピン経済の動向 (2024年第4四半期)

フィリピン経済の実質 GDP 伸び率は、2024年第1四半期は5.8%、第2四半期は6.4%、第3四半期は5.2%、第4四半期は5.2%で、通年5.6%となった。2024年第4四半期の実質 GDP 需要項目別では、前年同期比の伸び率で、GDPの75%を占める民間最終消費支出は4.7%（前期は5.2%）と減少し、政府最終消費支出は9.7%（前期は5.0%）と増加した。総固定資本形成は4.8%（前期は7.6%）と減少した。財・サービスの輸出は3.2%（前期は-1.4%）と復調で、財・サービスの輸入は3.2%（前期は6.4%）と減少している。産業別では、第一次産業は-1.8%（前期は-2.7%）と依然低迷し、第二次産業も4.4%（前期は5.1%）と鈍化した。GDPの62%を占める第三次産業は6.7%（前期6.3%）と堅調であった。その中で、保健衛生・社会事業が12.1%、運輸・倉庫業が9.5%、金融・保険業が8.5%、専門・ビジネスサービス業が8.3%と好調であった。

(岸本千佳司)

## シンガポールの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

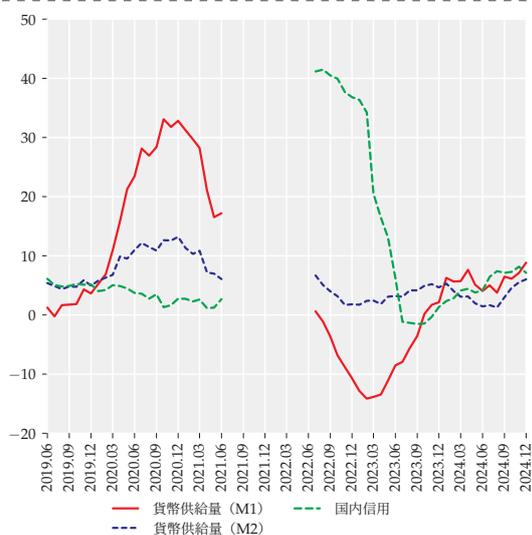


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

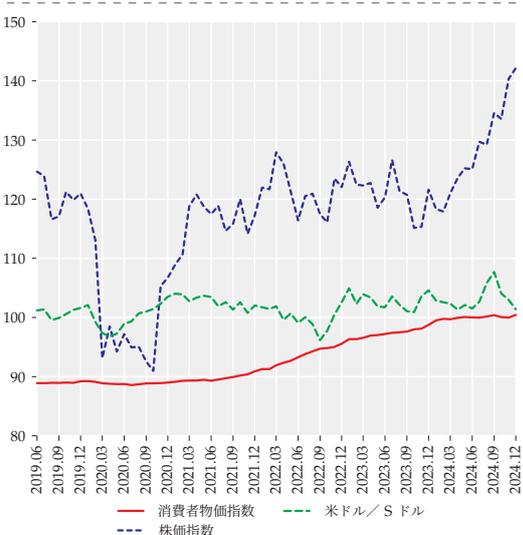
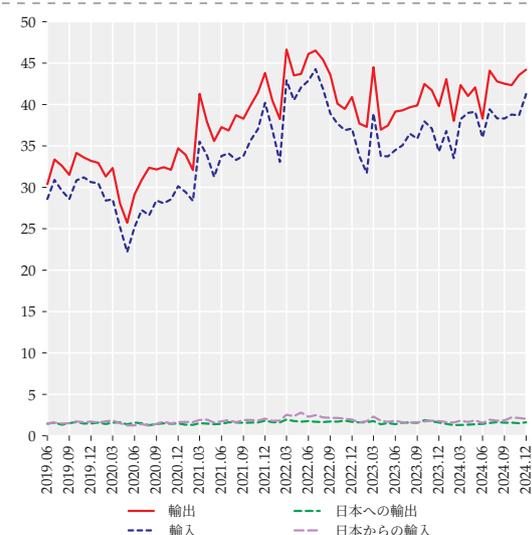


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### シンガポール経済の動向 (2024年第4四半期)

2024年第4四半期の実質 GDP は前年同期比で 5.0 %増加し、2024 年通年では 4.4 %拡大した。製造業は 2024 年第 4 四半期に前年同期比で 7.4 %拡大し、前期 (11.2 %) からの高い成長を維持した。同部門の好調な業績は、エレクトロニクス、輸送機器、一般製造業クラスターの生産拡大により牽引された。卸売部門は前年同期比で 6.7 %増加した一方、小売部門は 1.0 %減少した。小売部門の低調な業績は、自動車以外の販売減少がその要因となった。建設部門は前年同期比 4.4 %増となり、前期 (5.6 %増) のトレンドを継続した。米国の GDP 成長率は、消費の鈍化と新政権の政策をめぐる不確実性により 2025 年に減速すると予測されているが、ユーロ圏の成長率は消費の堅調さと投資の回復により改善すると見込まれている。中国の成長率は、米国の関税引き上げと国内の産業の過剰生産能力を背景に、輸出と投資の低迷により緩やかになると予想される。貿易産業省 (MTI) は 2025 年の GDP 成長率を 1.0~3.0 %と予測している。(アルバロ・ドミンゲス)

## タイの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

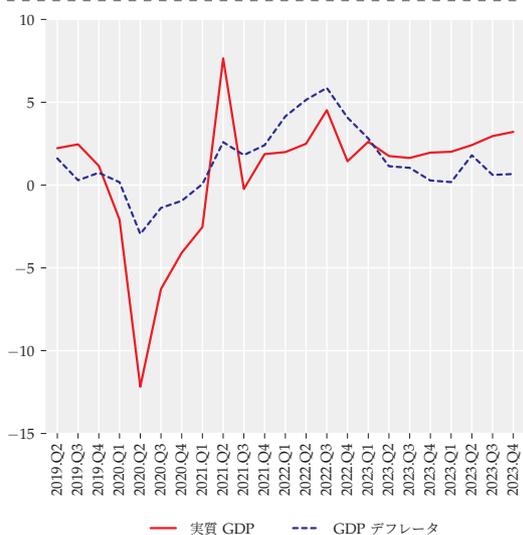


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率  
(前年同月比, %)

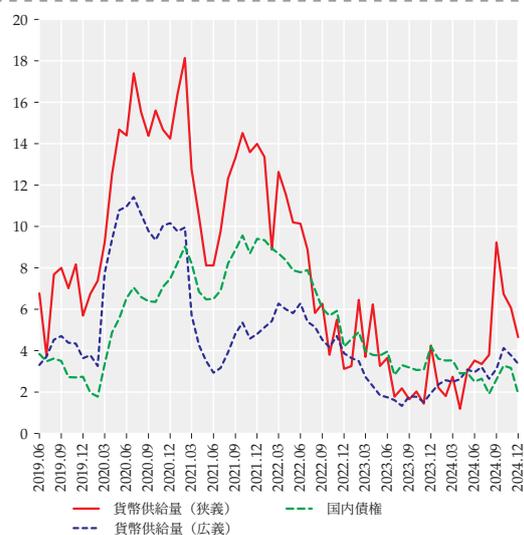


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

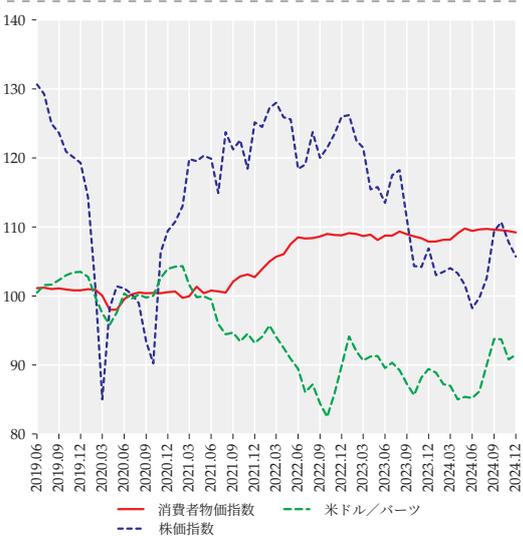
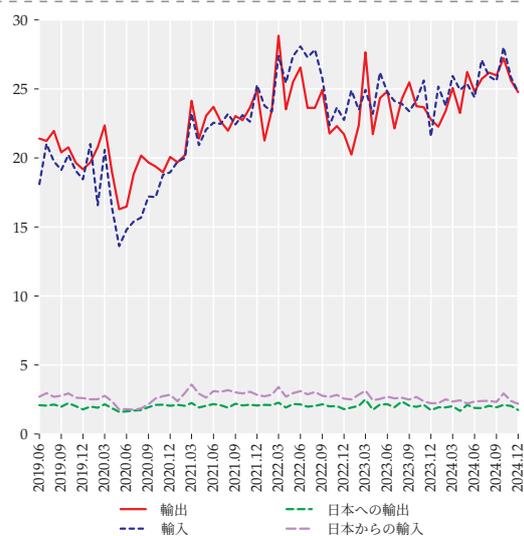


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### タイ経済の動向 (2024年第4四半期)

タイ経済は2024年第4四半期において前年同期比3.2%の成長を記録した。通年では2.5%の成長率となり、2023年の2.0%から改善した。成長の主な要因としては、輸出が11四半期で最高となる10.5%の増加を示したこと、民間消費が3.4%拡大したことが挙げられる。特にサービス部門は6.4%の成長を達成した。公共投資も39.4%と顕著な拡大を見せたが、民間投資は-2.1%となり、縮小が継続している状況である。2024年の名目GDPは18.58兆バーツに達し、観光関連産業が成長に大きく寄与した。宿泊・飲食サービス部門は9.5%、運輸部門は9.0%の成長を記録したものの、製造業は0.5%の減少となった。国家経済社会開発委員会(NESDC)は2025年の成長率を2.3~3.3%と予測している。今後の経済運営における重点課題としては、主要貿易国の政策変更への対応、民間投資の活性化、予算執行の効率化、債務問題への対策、観光部門の持続的発展などが掲げられている。なお、インフレ率は抑制され、経常収支は黒字維持が見込まれている。(姚 瑩)

## ベトナムの経済指標

図1：実質 GDP の伸び率

(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率

(前年同月比, %)

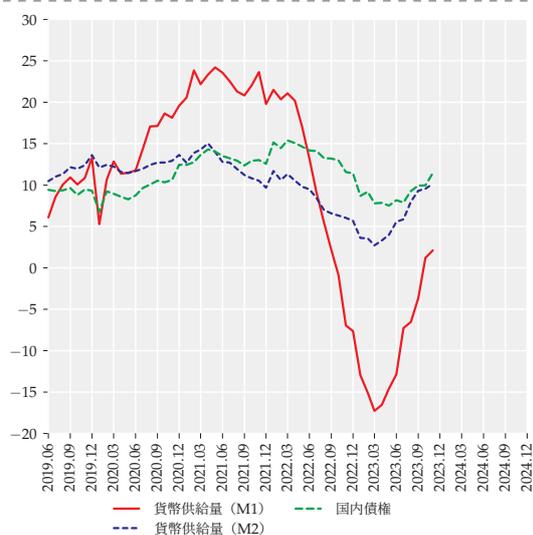


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数

(2020年=100)

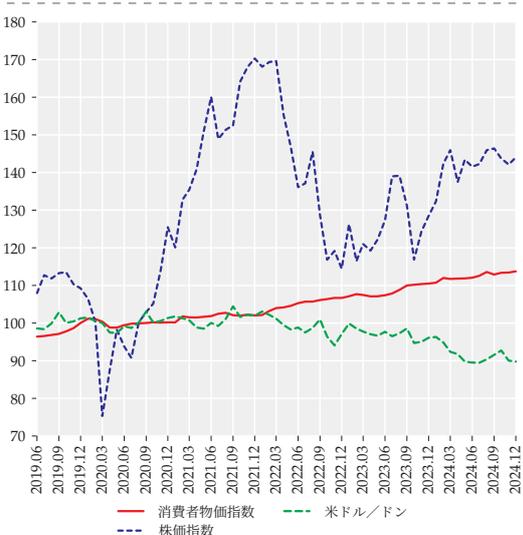
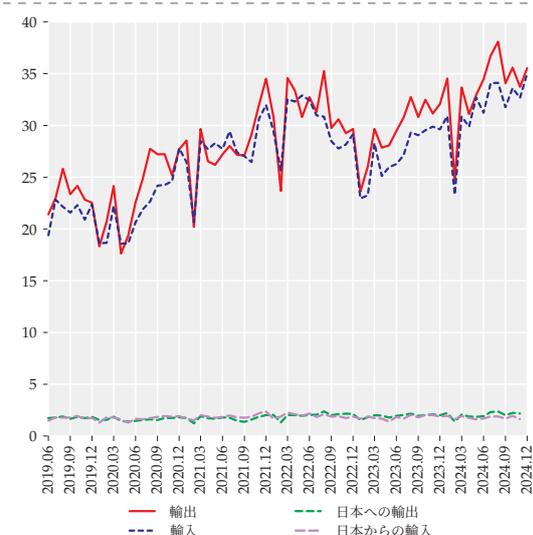


図4：輸出額と輸入額

(10 億米ドル)



### ベトナム経済の動向 (2024年第4四半期)

2024年第4四半期のGDP成長率は7.55%となり、引き続き好調な傾向を維持した。農業が2.99%、工業・建設業が8.35%、サービス業が8.21%それぞれ成長した。2024年通年では実質GDPが7.09%拡大し、製造業、貿易、観光が大きく貢献した。労働生産性は5.88%向上し、1人当たりGDPは4,700米ドルに達した。工業生産は8.4%成長し、製造業(9.6%)、電力生産(9.5%)が好調であった一方、採掘業は縮小した。小売売上高は9.0%増加し、外国人観光客は1,760万人(39.5%増)と回復した。輸出と輸入はそれぞれ14.3%と16.7%増加し、247.7億米ドルの貿易黒字を記録した。インフレ率は3.63%に抑えられ、労働市場も改善し、失業率は2.24%に低下した。国家予算収入は予測を上回る16.2%の増加を記録し、外国直接投資(FDI)も9.4%増加した。しかし、自然災害による被害が甚大であり、また交通事故による死亡者数が10,944人に達した。

(グエン・フン・トウ・ハン)

## インドの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

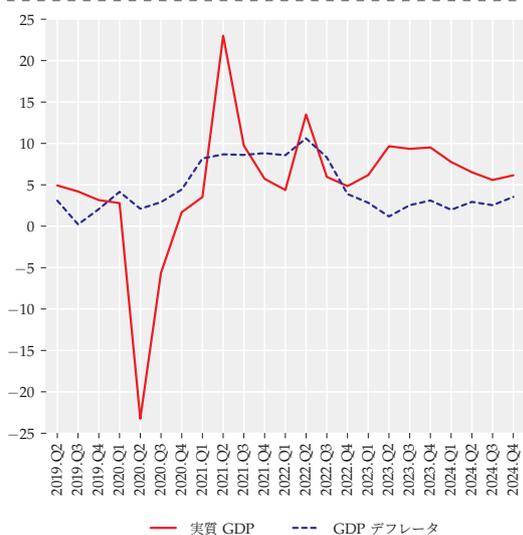


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

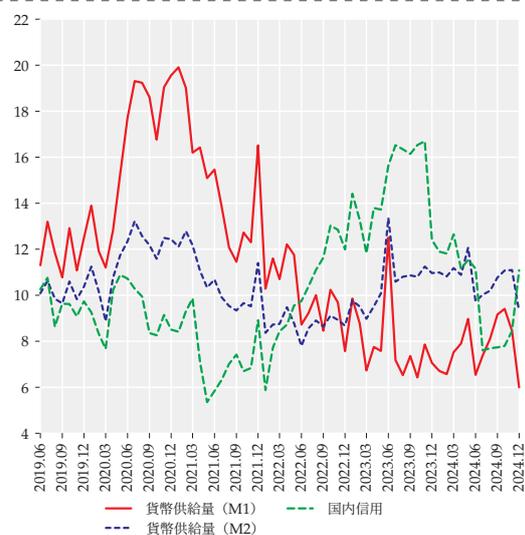


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

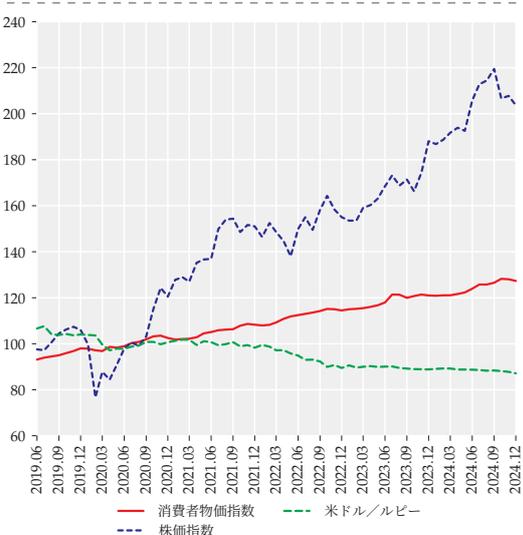
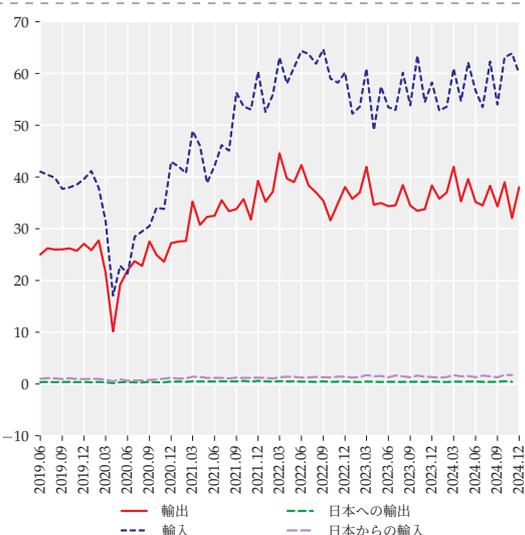


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### インド経済の動向 (2024年第4四半期)

2024年第4四半期の実質 GDP は前年同期比で 6.2 % 拡大し、前四半期の 5.6 % から加速した。民間消費支出 (6.9 % 増) と公共支出 (8.3 % 増) が成長を牽引し、輸出も 10.4 % 急増したが、総固定資本形成は 5.7 % とやや減速した。年間では、2023-24 年度に実質 GDP 成長率 9.2 % を達成し、これは製造業 (12.3 %)、建設業 (10.4 %)、金融・不動産業 (10.3 %) の二桁成長によるものだった。2024-25 年度は実質 GDP 成長率 6.5 %、名目 GDP 成長率 9.9 % と予測され、いずれも当初の予測から上方修正されている。セクター別では建設業 (8.6 %)、金融・不動産業 (7.2 %)、卸売・小売・輸送・通信業 (6.4 %) が主要な成長分野であり、民間消費も 7.6 % 増と前年度の 5.6 % から大幅改善が見込まれる。長期にわたるエネルギーと食料価格の高騰やインド準備銀行 (RBI) の引き締めの金融政策にもかかわらず、インド経済は G20 諸国の中でも引き続き高い成長率を維持している点が注目される。(姚 瑩)

## 図に関するデータの出所および注

### 日本：

- 図 1 内閣府経済社会総合研究所 (<https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/menu.html>)
- 図 2 日本銀行 (<https://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 3 消費者物価指数：総務省統計局 (<https://www.stat.go.jp/data/cpi/index.html>)；株価指数：日本経済新聞社，日経平均プロフィール (<https://indexes.nikkei.co.jp/nkave/index/profile?idx=nk225>)；為替レート指数：日本銀行 (<https://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 4 財務省 (<https://www.customs.go.jp/toukei/suii/html/time.htm>)；東アジアは中国，香港，韓国，台湾，インドネシア，マレーシア，フィリピン，シンガポール，タイ，ベトナムの合計

### 中国：

- 図 1 China, National Bureau of Statistics, *Statistical Database* (<https://www.stats.gov.cn/english/Statisticaldata/>)
- 図 2, 図 3 China, Statistics and Analysis Department, The People's Bank of China (<http://www.pbc.gov.cn/diaochatongjisi/116219/index.html>)
- 図 3 消費者物価指数：China, National Bureau of Statistics, *Statistical Database* (<https://www.stats.gov.cn/english/Statisticaldata/>)
- 図 4 2024 年 9 月および 2024 年 10 月の日本との貿易額：China, General Administration of Customs, *Statistics / Preliminary Release* (<http://english.customs.gov.cn/statics/report/preliminary.html>)，それ以外：China, General Administration of Customs, *Statistics / Monthly Bulletin* (<http://english.customs.gov.cn/statics/report/monthly.html>)

### 香港：

- 図 1, 図 4 Hong Kong, Census and Statistics Department, *List of All Statistical Products* ([https://www.censtatd.gov.hk/en/page\\_1273.html](https://www.censtatd.gov.hk/en/page_1273.html))
- 図 2, 図 3 Hong Kong, Monetary Authority, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.hkma.gov.hk/eng/market-data-and-statistics/monthly-statistical-bulletin>)

### 韓国：

- 図 1, 図 2, 図 3, 図 4 Korea, Bank of Korea (<https://ecos.bok.or.kr>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EKS11/history>)

### 台湾：

- 図 1 Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<https://eng.stat.gov.tw/cl.aspx?n=2332>)
- 図 2 Republic of China, Central Bank of China (<https://www.cbc.gov.tw/en/cp-511-2069-A8BEF-2.html>)
- 図 3 消費者物価指数：Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<https://eng.stat.gov.tw/cp.aspx?n=2327>)；株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5ETWII/history>)；為替レート指数：Republic of China, Central Bank of China (<https://www.cbc.gov.tw/en/cp-480-58819-C8475-2.html>)
- 図 4 Republic of China, Customs Administration, Ministry of Finance, *CPT Single Window, Statistical Database Query* (<https://portal.sw.nat.gov.tw/APGA/GA30E>)

### インドネシア：

- 図 1 Indonesia, BPS-Statistics Indonesia, *Statistics by Subject* (<https://www.bps.go.id/en/statistics-table?subject=531>)
- 図 2 Indonesia, Bank Indonesia, *Indonesian Economic and Financial Statistics* (<https://www.bi.go.id/en/statistik/ekonomi-keuangan/seki/Default.aspx>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EJKSE/history>)；消費者物価指数：Indonesia, BPS-Statistics Indonesia, *Statistics by Subject* (<https://www.bps.go.id/en/statistics-table?subject=536>)；為替レート：Indonesia, Bank Indonesia, *Indonesian Economic and Financial Statistics* (<https://www.bi.go.id/en/statistik/ekonomi-keuangan/seki/Default.aspx>)
- 図 4 Indonesia, BPS-Statistics Indonesia, *National Export Import Data* (<https://www.bps.go.id/en/exim>)

### マレーシア：

- 図 1 Bank Negara Malaysia, *National Summary Data Page for Malaysia* (<https://www.bnm.gov.my/national-summary-data-page-for-malaysia>)
- 図 2, 図 3 Bank Negara Malaysia, Bank Negara Malaysia, *Monthly Highlights and Statistics* (<https://www.bnm.gov.my/publications/mhs>)
- 図 2 国内債権：International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<https://data.imf.org/ifs>)
- 図 3 株価指数：Bloomberg (<https://www.bloomberg.co.jp/quote/FBMKLCI:IND>)
- 図 4 Malaysia, Department of Statistics, *Malaysia External Trade Statistics* (<https://metsonline.dosm.gov.my/>)

## フィリピン：

- 図1 Philippines, Philippine Statistics Authority, *National Accounts* (<https://psa.gov.ph/statistics/national-accounts>)
- 図2 Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Financial System Accounts* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/Financial%20System%20Accounts.aspx?TabId=3>)
- 図3 消費者物価指数：Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – Prices* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/Prices.aspx?TabId=1>)；為替レート指数：Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – External Account* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/External.aspx?TabId=9>)；株価指数：Yahoo Finance (<https://finance.yahoo.com/quote/PSEI.PS/history>)
- 図4 Philippines, Philippine Statistics Authority, *Foreign Trade* (<https://psa.gov.ph/statistics/foreign-trade>)

## シンガポール：

- 図1 Singapore, Department of Statistics (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/national-accounts>)
- 図2 Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Money-and-Banking.aspx>)；シンガポール金融管理局が2021年7月から統計の集計方法を変更したため、それ以降2022年6月までの前年同月比を計算していない。
- 図3 消費者物価指数：Singapore, Department of Statistic, (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/prices-and-price-indices>)；株価指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Financial-Markets.aspx>)；為替レート指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Exchange Rates* (<https://www.mas.gov.sg/statistics/exchange-rates>)
- 図4 Singapore, Department of Statistic (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/trade-and-investment/merchandise-trade>)

## タイ：

- 図1 Thailand, National Economic and Social Development Council, *National Account* ([https://www.nesdc.go.th/nesdb-en/main.php?filename=national\\_account](https://www.nesdc.go.th/nesdb-en/main.php?filename=national_account))
- 図2 Thailand, Bank of Thailand, *Statistics and Dissemination* (<https://www.bot.or.th/en/statistics/monetary-statistic.html>)
- 図3 消費者物価指数：Thailand, Ministry of Commerce, Bureau of Trade and Economic Indices (<http://www.price.moc.go.th/en/Default5.aspx>)；株価指数：Thailand, The Stock Exchange of Thailand, *Market Statistics* (<https://www.set.or.th/en/market/statistics/market-statistics/main>)；為替レート指数：Thailand, Bank of Thailand, *Statistics and Dissemination* (<https://www.bot.or.th/en/statistics/external-sector.html>)
- 図4 Thailand, Bank of Thailand, *Statistics and Dissemination* (<https://www.bot.or.th/en/statistics/external-sector.html>)

## ベトナム：

- 図1 Vietnam, General Statistics Office, *National Accounts* (<https://www.gso.gov.vn/en/national-accounts/>)
- 図2 International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<https://data.imf.org/ifs>)
- 図3 消費者物価指数および為替レート：Vietnam, General Statistics Office, *Consumer price index archive* (<https://www.gso.gov.vn/en/cpi/>)；株価指数：Fusion Media, *Investing.com* (<https://www.investing.com/indices/vn-historical-data>)
- 図4 Vietnam, General Statistics Office, *Thematic Data, Import-Export archive* (<https://www.gso.gov.vn/en/import-export/>)

## インド：

- 図1 India, Ministry of Statistics and Programme Implementation (<https://www.mospi.gov.in>)
- 図2, 図3, 図4 Reserve Bank of India, *RBI Bulletin* ([https://www.rbi.org.in/Scripts/BS\\_ViewBulletin.aspx](https://www.rbi.org.in/Scripts/BS_ViewBulletin.aspx))
- 図3 2021年2月の消費者物価指数：India, Ministry of Statistics and Programme Implementation (<https://www.mospi.gov.in>)；株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EBSESN/history>)
- 図4 日本との輸出入：India, Ministry of Commerce and Industry, *System on India's Monthly Trade* (<https://tradestat.commerce.gov.in/meidb/>)